

予測アラート付リアルタイムCGM

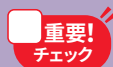
はじめてみよう!

ガーディアン™ CGM

(ガーディアン™ 4スマートCGMシステム)



ガーディアン™ CGM 入門ナビ



重要ポイントがわかりやすい!
チェックしながら進めよう!

使用開始時に必要な知識、基本操作を簡易的にまとめたマニュアルです。

必ず電子添文とユーザーガイドを併せてご確認ください。

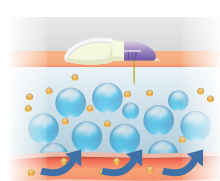


もくじ

ガーディアン™CGMをはじめするために

基礎編：はじめてみようリアルタイムCGM

P.3～5 ガーディアン™CGM
をはじめための基礎知識



P.6～14
機器の概要・初期設定

トランスミッタ充電 (P.8)
アプリインストール (P.9～10)
ケアリング™ パーソナルID作成 (P.11～12)
トランスミッタのペアリング (P.13～14)

P.15～21
センサ装着・使用開始



P.22～23
較正方法



P.24 センサ交換の
タイミング



P.25
Q&A

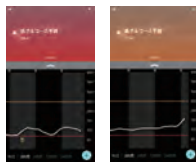


P.26
成功のカギ



応用編：もっと便利に！リアルタイムCGMを使いこなそう

P.27～31
グルコースアラートの活用



P.32～38
ケアリング™コネクットの活用



P.39～40
ケアリング™レポートの活用



P.41 リアルタイムCGM
使用時の重要な注意事項



ガーディアン™CGMをはじめするための基礎知識

リアルタイムCGMとは

ガーディアン™CGMをはじめするための基礎知識

リアルタイムCGM (Continuous Glucose Monitoring) とは

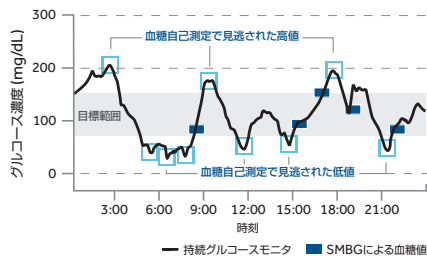
- 皮下に装着したセンサによって、血糖変動の把握をする機器です
- 測定した「センサグルコース値」を対応するモバイル機器の画面にリアルタイムで表示します
- CGMにより隠れた低血糖や高血糖などの日内の血糖変動が明らかになります
- 高・低血糖が予測される最大60分前にお知らせするアラートや家族・保護者とデータを共有する機能もあり、血糖管理や家族・保護者の安心にも役立ちます



Bluetooth®



トランスミッタとモバイル機器との通信距離は1.8m以内



重要!
チェック

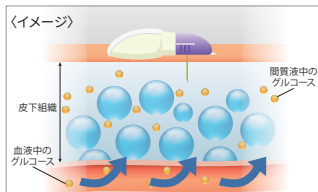
モバイル機器に表示されるセンサグルコース値は、間質液中のグルコース濃度を測ったものであり、実測血糖値との間に時間差があります。センサグルコース値による治療判断は可能ですが、センサグルコース値が疑わしい場合には、血糖自己測定を行ってください。

ガーディアン™CGMをはじめるための基礎知識

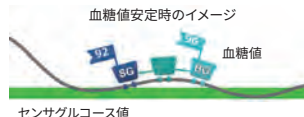
リアルタイムCGMとは

CGMはどのように測定しているのか

間質液中のグルコース濃度を測定します



血糖値安定時は血糖値とセンサグルコース値は近い値になります



血糖値上昇時、下降時には時間差の影響が大きくなります



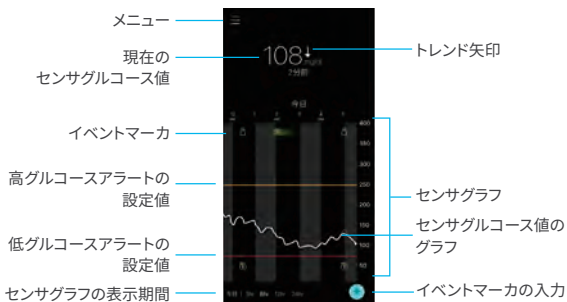
CGMのセンサは、血糖値より少し遅れて上がり下がりする「**間質液のグルコース*濃度**」を測っています。較正(間質液で測定した値を血糖値に近づけるために、実測血糖値を入力すること)を行うことも可能ですが、較正を行わなくてもセンサグルコース値は表示されます。センサグルコース値に基づき、高血糖・低血糖の判断、インスリン注入量の決定などの治療調整は可能ですが、センサグルコース値に異常がある場合や低血糖や高血糖症状がある場合は、**血糖自己測定を実施し、血糖値に基づき判断、治療調整をしてください。**(特にセンサ装着初日は差異が生じやすいのでご注意ください。) *グルコース=糖



以下のような場面では、指先による血糖自己測定で血糖値を確認してください。

- ・服用している薬にパラセタモールまたはアセトアミノフェンが含まれている
- ・直近のセンサグルコース値が得られない
- ・症状がグルコース値と一致しない
- ・センサグルコース値が正しいか分からない

使用時のホーム画面



↑または↓

センサグルコース値が1~2mg/dL/分の速度で上昇または下降している。

↑↑または↓↓

センサグルコース値が2~3mg/dL/分の速度で上昇または下降している。

↑↑↑または↓↓↓

センサグルコース値が3mg/dL/分以上の速度で上昇または下降している。

ガーディアン™CGMをはじめるための基礎知識

対応機種・OSの確認に関して

機種変更・OSの自動アップロードに注意してください!

ガーディアン™アプリに対応している**モバイル機種、OSバージョンのみ**で使用できます。

最新のモバイル機器、アプリへの対応に時間が掛かることがあります。
機種変更、OSのバージョンアップ等で、機種、OSが変更されると使用できないことがありますので、ご注意ください。

対応の機種、バージョンを確認ください



下記アドレスにアクセスするか、QRコードをスキャンすると、最新の対応モバイル機器及びOS一覧が確認できます。

www.medtronic.com/guardian-app

機器の概要・初期設定

CGMと付属品



1 ガーディアン™4センサ

2 ガーディアン™4
トランスミッタ

3 オーバルテープ



4 ワンプレスサータ



5 トランスミッタ充電器



6 テストプラグ(緑)



7 モバイル機器

| 機器 | 説明 |
|---------------|--|
| 1 ガーディアン™4センサ | ガーディアン™4センサ(以下、センサ)は皮下のグルコース値を測定します。 |
| 2 トランスミッタ | トランスミッタがセンサに接続され、お使いのモバイル機器にセンサグルコース値を送信します。 ※ガーディアン™4センサ用のトランスミッタをご使用ください。 |
| 3 オーバルテープ | 装着したセンサ及びトランスミッタを皮膚に固定します。 |
| 4 ワンプレスサータ | ワンプレスサータ(以下、サータ)はセンサを装着するために使用します。 |
| 5 トランスミッタ充電器 | トランスミッタの充電をします。単4電池1個で稼働します。 |
| 6 テストプラグ(緑) | トランスミッタの作動確認および洗浄時に使用します。 |
| 7 モバイル機器 | 専用のアプリでセンサグルコース値のモニタリングをします。 対応のモバイル機器およびOSは、製品ウェブサイトをご確認ください。 |

機器の概要・初期設定

初期設定のながれ

トランスミッタ
充電



アプリの
インストール・起動



ケアリンク™
パーソナルID
の作成



トランスミッタの
ペアリング



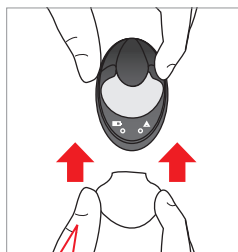
Bluetooth®



トランスミッタ充電

トランスミッタを充電する

トランスミッタは、新しいセンサに接続する前に、充電を完全しておく必要があります。充電中は充電器の緑のライトが点滅し、完全に充電されると消灯します。



接続部分の損傷を避けるため絶対にねじらないように気をつける。

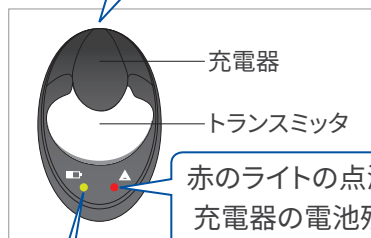
重要!
チェック

電池残量がなくなったトランスミッタの充電には2時間かかる場合があります。

トランスミッタを一時的に使用しないとき

トランスミッタの内蔵電池の劣化を防ぐため60日に一度は充電を行ってください。トランスミッタを充電器接続したまま60日以上経過すると、電池に損傷が生じます。

充電器の電池は単4アルカリ乾電池を使用する。



赤のライトの点滅は充電器の電池残量低下を示す。

完全に充電されると緑のライトが消灯する。

アプリのインストール・起動

- 1 モバイル機器
を用意する

対応するモバイル機器と
OSの確認はこちら



www.medtronic.com/guardian-app

- 2 インターネット
に接続する



- 3 Bluetooth®を
オンにする



- 4 ガーディアン™アプリを
インストール



アプリストアで
「Guardian medtronic」で検索

- 5 アプリを起動する



- 6 Bluetooth®の
接続を許可
※iOSのみ



アプリのインストール・起動

アプリ起動させ、ログイン画面まで進めてください

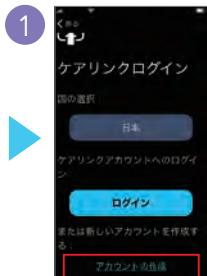


「日本」を選択し、
「次へ」を選択

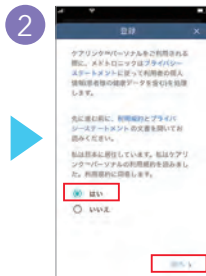
次のページへ進み、
「ケアリンク™アカウントID」の作成をしてください

ケアリンク™ パーソナルIDの作成

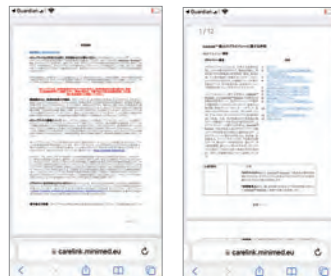
※ 画面の内容を確認し、ガイダンスに従い選択をしてください



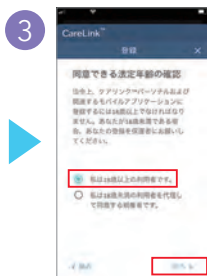
「アカウントの作成」を選択



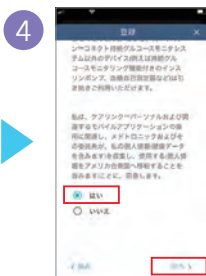
利用規約、プライバシーステートメントを確認し、登録画面に戻り、「はい」を選択し、「次へ」を選択



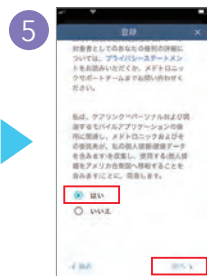
※ 文書確認画面イメージ
※ 利用規約、プライバシーステートメントを読まないで次に進めません



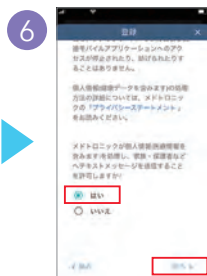
年齢を選択し、「次へ」を選択



「はい」を選択し、「次へ」を選択



「はい」を選択し、「次へ」を選択



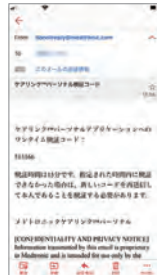
「はい」を選択し、「次へ」を選択



「ID」、「パスワード」、「メールアドレス」を入力し、「次へ」を選択
※ キャリアメールを使用しないでください



「名前」、「郵便番号」、「電話番号」などを入力し、送信を選択
※ *がある項目は必須項目です



登録したメールアドレスに「検証コード」が届きます

ケアリンク™ パーソナルIDの作成



「検証コード」を入力し、「ロボットではありません」に「チェック」を入れます



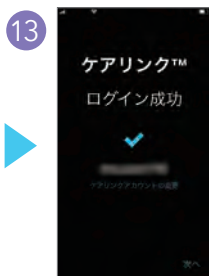
画面の指示に従い、画面を選択し、「確認」を選択



登録完了を表示されたら、アカウント作成は完了です「続行」を選択



ログイン画面から「ID」、「パスワード」を入力しログインします



ログイン画面から「ID」、「パスワード」を入力し、ログインします

次のページへ進み、「トランスミッタのペアリング」を行ってください

トランスミッタのペアリング

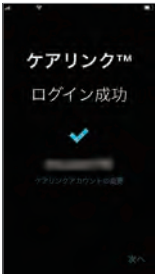
トランスミッタ
充電

アプリの
インストール・
起動

ペアリング™
パーソナルID
の作成

トランスミッタ
のペアリング

※ 画面の内容を確認し、トランスミッタペアリング画面まで進めてください

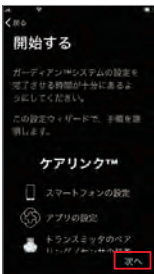
- 

「次へ」を選択
- 

「次へ」を選択
- 

「同意する」を選択
- 

「同意する」を選択
- 

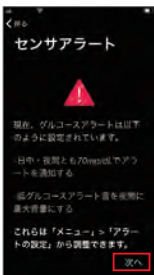
「分析データの共有」を選択
- 

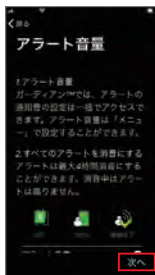
「次へ」を選択
- 

「次へ」を選択
- 

「次へ」を選択
- 

「次へ」を選択
- 

「次へ」を選択
- 

「次へ」を選択
- 

「次へ」を選択

トランスミッタのペアリング



「次へ」を選択



「次へ」を選択



「次へ」を選択



シリアル番号を確認し、選択



※ ペアリングができない場合、
アプリ毎のBluetoothの設定を確認してください

設定→ガーディアンアプリ
→Bluetooth設定「オン」を確認

※iOSの場合

次のページへ進み、
「センサ装着、使用開始」を行ってください

センサ装着・使用開始 使用開始までのながれ

センサの装着



トランスミッタ接続



新センサ使用開始



センサ装着・使用開始

センサ装着・使用開始

センサの装着

センサの装着

トランスミッタ
接続

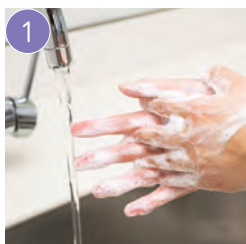
新センサ
使用開始



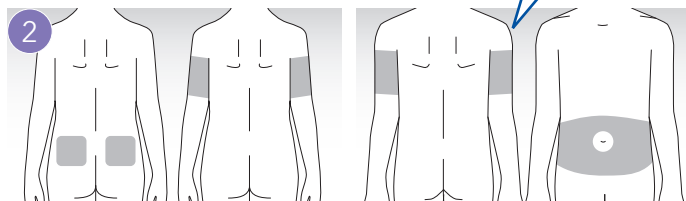
アプリ内の
センサ装着のビデオでも
装着方法を確認いただけます

センサ装着・使用開始

手をしっかり洗う



適切な装着部位を選択する



| 年齢 | 装着部位 | 年齢 | 装着部位 |
|-------|-------------|-------|-----------|
| 2~17歳 | 上腕背面および臀部上部 | 18歳以上 | 上腕背面および腹部 |

年齢2~17歳の腹部への装着は
精度が評価されていません。

年齢18歳以上の臀部上部への
装着は精度が評価されていません。

センサの精度を
保つために
装着部位の選択は
とても重要です。

装着部位の注意点

※皮下脂肪の分布は年齢や性別などによって個人差があります。
部位は主治医や看護師にご相談ください。

重要!
チェック

- ・センサは**7日**に1度交換しましょう。
- ・装着部位は**必ずローテーション**を行いましょ。
- ・十分に皮下脂肪がある部位に装着しましょう。

装着を避ける部位

- ・皮下にしりこりがある(かたくなった)部位
- ・インスリン注入部位から2.5cm以内の部位
- ・締め付けられる部位
- ・激しく動くことの多い部位
- ・屈曲部位(座った時に入るお腹のシワの部位など)
- ・前回の部位から2.5cm以内の部位
- ・臍の周囲5.0cm以内の部位

重要!
チェック

センサ装着・使用開始

センサの装着

センサの装着

トランスミッタ
接続

新センサ
使用開始

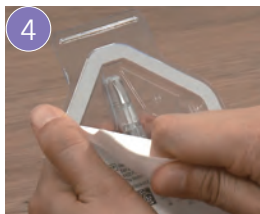
センサ装着・使用開始

アルコール消毒する



装着部位をアルコール綿で拭いて消毒し、乾燥させます。

センサを取り出す



センサのパッケージを開封します。
※ガーディアン™4センサである
ことを確認してください。



台座を持ちながら、ガーディアン™4
センサをパッケージから取り出し、
平らなテーブルの上に置きます。

粘着タブを確認する



センサの粘着タブが、センサのコネクタとスナップの下に
押し込まれていることを確認します。

サータの正しい持ち方



重要!
チェック

親指を
指紋マークの上に
置いてサータを
持つ。

重要!
チェック

ボタンを
触らない。

センサを平らな台に置き、サータをセンサに押し込む



サータの底部がテーブル面につき、カチッと音がする
まで、台座の上にサータを慎重に押し込みます。

取り外す



次ページへ続く

台座の両端を2本の指で押さえ、もう一方の手
でサータを持ちます。この時、ボタンに触れ
ないように注意し、親指は親指置きマーク(指紋
マーク)の上に置きます。

センサ装着・使用開始 センサの装着

センサの装着

トランスミッタ
接続

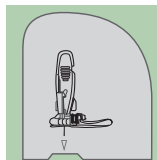
新センサ
使用開始

センサ装着・使用開始

サータを引き上げる



ボタンを押さずに、サータをゆっくりと真っすぐに引き上げます。サータを宙に浮かせた状態で台座を外さないでください。センサが破損するおそれがあります。



ノート：サータの側面にある矢印は、サータ内の針と一直線上にあります。

皮膚に密着させる



サータの底部を消毒した装着部位に密着させます。密着されていない場合や、強く押し付けすぎるとセンサが不適切に装着される可能性があります。

ボタンを押す



身体に対してサータが平らに押し当てられていることを確認し、両方のボタンを同時に押して離します。

5秒待つ



そのまま5秒間待って、皮膚にセンサをしっかりと接着させます。

サータを持ち上げる



ボタンを押さないように注意しながら、サータをゆっくりと引き上げます。

重要！
チェック

ボタンを
押さない

センサ装着・使用開始

センサの装着

センサの装着

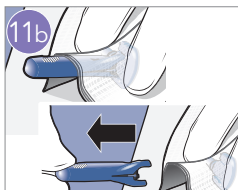
トランスミッタ
接続

新センサ
使用開始

患者さんご自身でセンサを装着した場合、11aに進んでください。
医療従事者または介護者の方がセンサ装着した場合、11bに進んでください。



または



患者さん：
センサベースの頭頂部とセンサコネクタを2本の指でそっと押さえます。もう一方の手でニードルハブの上部を持ち、まっすぐにゆっくりと持ち上げ、センサから外します。

医療従事者または介護者の方：
滅菌ガーゼでセンサの周りを包みます（画像11bに示すように）。センサベースの頭頂部とセンサコネクタを2本の指でそっと押さえます。もう一方の手でニードルハブの上部を持ち、まっすぐにゆっくりと持ち上げ、センサから外します。

はくり紙をはがす



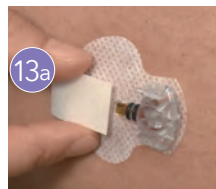
センサが動かないようにおさえながら、粘着パッドの下の剥離紙をゆっくりと剥がします。四角い粘着タブについている剥離紙は剥がさないでください。このタブは、後でトランスミッタを固定する際に使用します。

密着させる



粘着パッドを皮膚にしっかりと押し付け、センサが皮膚に密着した状態になるようにします。

粘着タブを引き出す



コネクタの下の粘着タブを引き出します。

粘着タブで固定する



センサの粘着タブを皮膚面にとってまっすぐに伸ばします。

センサ装着・使用開始

センサ装着・使用開始

トランスミッタの接続

センサの装着

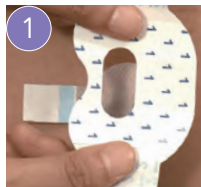
トランスミッタ
接続

新センサ
使用開始

センサ装着・使用開始

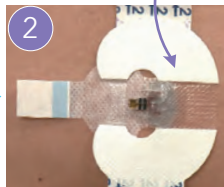
オーバーテープの貼付

テープの幅広い部分が
センサベースの半分を
覆います。



※中央の剥離紙が1枚の場合「1」と表示された剥離紙をはがします。

※中央の剥離紙が2枚の場合「1」「2」と表示された剥離紙をはがします。

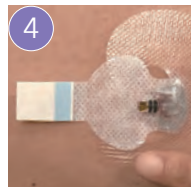


図のようにテープを貼り、
しっかりとおさえます。



※中央の剥離紙が1枚の場合
両側から「2」と表示された
剥離紙をはがします。

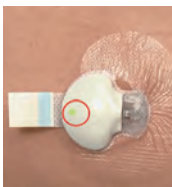
※中央の剥離紙が2枚の場合
両側から「3」と表示された
剥離紙をはがします。



テープが平らになるよう
におさえます。



充電が完了したトランスミッタをセンサに接続します。接続する際は、センサの頭頂部を人差し指で押さえ、トランスミッタを押し込みます。接続されると「カチッ」という音がします。※ガーディアン™ 4センサ用のトランスミッタをご使用ください。

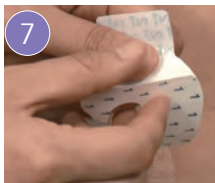


ノート:トランスミッタが緑色に
6回点滅するを確認して
ください。緑色のライトが点滅
しない場合は、トランスミッタ
ユーザガイドのトラブルシュー
ティングを参照してください。



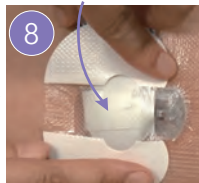
トランスミッタに粘着タブを
被せます。
ノート:タブは無理に引っ張らな
いでください。

テープの幅広い部分がトランスミッタの
端と皮膚を覆います。



2枚目のテープを貼るには、
※中央の剥離紙が1枚の場合
「1」と表示された剥離紙を
はがします。

※中央の剥離紙が2枚の場合
「1」「2」と表示された剥離
紙をはがします。



2枚目のテープを最初の
テープと反対方向に向け、
トランスミッタに貼ります。
しっかりとおさえます。



※中央の剥離紙が1枚の
場合、両側から「2」と表
示された剥離紙をはが
します。

※中央の剥離紙が2枚の
場合、両側から「3」と表
示された剥離紙をはが
します。



テープが平らになるよう
におさえます。
ノート:センサ装着部位を定
期的に確認してください。

センサ装着・使用開始 新センサ使用開始

センサの装着

トランスミッタ
接続

新センサ
使用開始



センサ装着後、
「センサ使用開始」を選択



「OK」を選択



「完了しました」を選択



2時間以内に準備が完了します

センサ装着・使用開始

校正方法 校正のポイント

校正をする際は、適切な方法で行いましょう

- 校正を行わなくてもセンサグルコース値は表示されます
- センサグルコース値による治療判断は可能ですが、センサグルコース値が疑わしいと思われる場合には、血糖自己測定を行ってください

重要! チェック 変動が大きいタイミングで測定した血糖値で校正をしないようにしてください。トレンド矢印が0~1本のタイミングで測定した血糖値で校正してください。

血糖値の変動が大きくなるタイミング

- 食事中や食事後
- 激しい運動中や運動後
- インスリン投与後



血糖値上昇時のイメージ



センサグルコース値



血糖値下降時のイメージ



センサグルコース値

重要! チェック 血糖自己測定は正しい方法で行ってください。

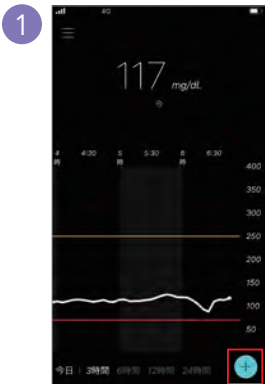
- 測定部位
- 清潔、消毒
- チップの有効期限 など

重要! チェック 血糖値は速やかにアプリに入力してください。

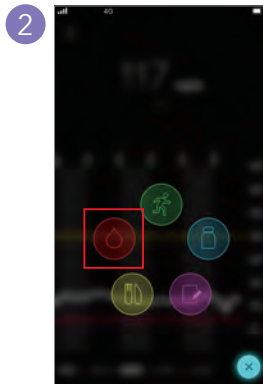


較正方法

較正の画面操作



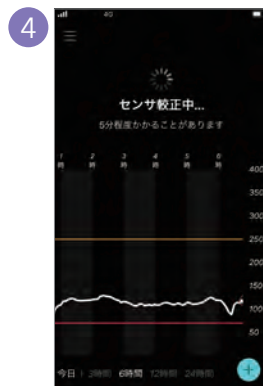
「イベントマーク入力アイコン」を選択



「血糖値アイコン」を選択



「血糖値」を入力し、「校正」を選択



センサー較正が行われます

センサ交換のタイミング

センサの使用期限が切れるタイミング

センサは7日間使用可能です。7日間を経過するとアラートで通知します。

センサアイコン

ホーム画面 > メニュー

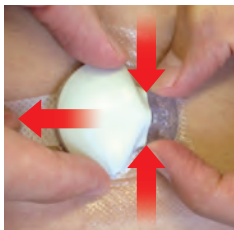
残り24時間以内



トランスミッタを取り外す方法



トランスミッタを覆っているオーバルテープ(2枚目として張り付けたもの)を剥がし、続いて粘着タブをトランスミッタから慎重に外します。



センサの両端を人差し指と親指でつまみ、トランスミッタをセンサから取り外します。

センサを取り外す方法

1. センサの白いテープを剥がしてセンサを取り外すか、センサのふちを持って皮膚から取り外します。
2. 取り外したセンサは、医療廃棄物容器に入れて廃棄してください。

新センサの使用を開始するタイミング

重要!
チェック

センサの交換は、失敗しないように時間に余裕をもって行いましょう。

Q & A

Q. お風呂の時はどのようにすればいいですか？

- A. トランスミッタは防水ですので装着したまま入浴できます。モバイル機器とトランスミッタの通信が30分以上中断されるとアラートが発生します。通信が再開すると、中断されていた間のセンサグルコース値がモバイル機器に送信され、アプリ上に表示されます。



Q. トランスミッタを洗浄してもいいですか？

- A. 必ずテストプラグを取り付けて洗浄してください。トランスミッタの接続部に水などが入ると故障します。



Q. 飛行機に乗る場合はCGMは使用できますか？

- A. 本製品はBluetooth®を使用し、モバイル機器とトランスミッタは通信を行っています。

ほとんどの飛行機で、機内でもトランスミッタをご使用することができます。Bluetooth®の接続について、航空会社のガイダンスに従ってください。必要に応じて、モバイル機器の設定を機内モードにするなどして、トランスミッタとモバイル機器の通信を中止する必要があります。通信を再開すると、中止していた間のセンサグルコース値がモバイル機器に送信され、アプリ上に表示されます。

- トランスミッタを装着して搭乗する旨を事前に航空会社にご連絡ください。
- 空港の保安検査場では、X線検査にトランスミッタ、センサを通さないでください。ゲート型の金属探知機検査は問題ありませんが、ボディースキャナー検査を受ける場合は、検査前にトランスミッタ、センサを体から取り外す必要があります。



Q. X線検査、CT検査、MRI検査はそのまま受けて大丈夫ですか？

- A. X線や電磁波を用いる検査の際は、トランスミッタ、センサを必ず取り外してください。

リアルタイムCGM成功のカギ

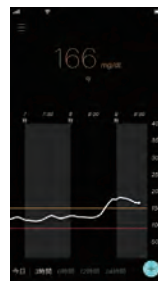
センサ装着の手技、装着部位の選択は重要です

適切な部位に、正しくセンサを装着しましょう。安定的に測定するために重要です。



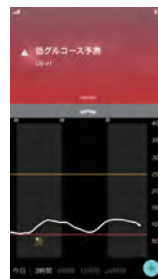
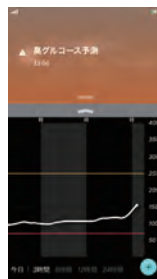
センサグルコース値の変動傾向を確認しましょう

食事、インスリンの投与、運動などがどのようにセンサグルコース値に影響するか、トレンド矢印やグラフの動きを参考にして、変動傾向を確認しましょう。



慣れたら予測アラートを活用しましょう

CGMに慣れたら、医師と相談して予測アラートを活用しましょう。



グルコースアラートの活用

アラートの種類

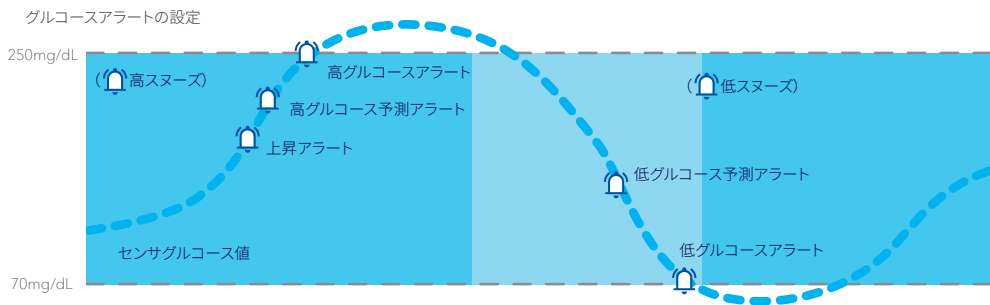
グルコースアラートとは、センサグルコース値の変動状況をリアルタイムにアラート通知してくれる機能です。センサグルコース値が上限値や下限値に到達したときや到達が予測されるとき、上昇速度が速いときなどにアラートで通知するよう設定できます。高・低グルコース予測アラートは、高血糖、低血糖になる前に、事前に予防対策を行いたいとお考えの方におすすめの機能です。

グルコースアラートの種類



設定数が多すぎたり、設定値が自分にあわない場合、生活の質を下げってしまう場合があります。

自分にあった設定内容と対処方法をよく主治医と相談し使用しましょう。

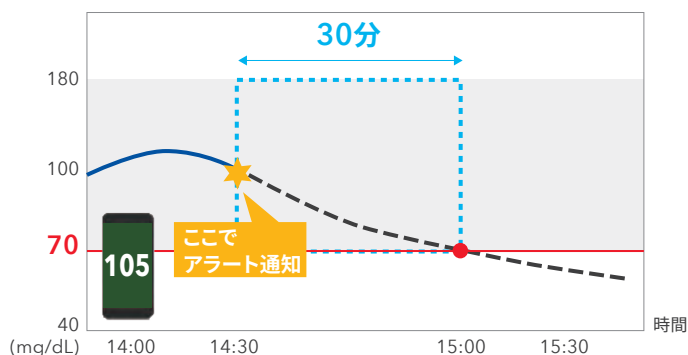


(グルコースアラートのイメージです。)

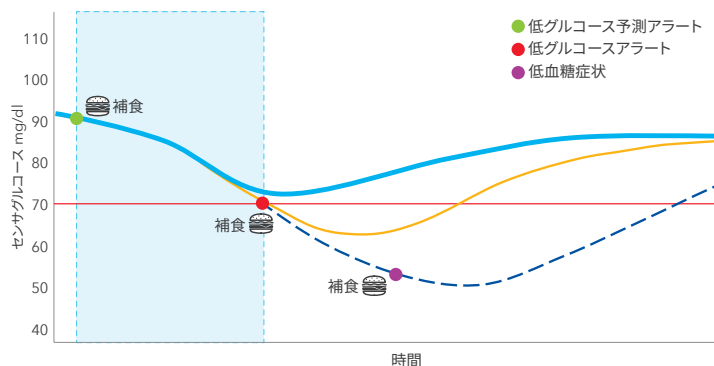
低グルコース予測アラート

- 低グルコース予測アラートとは、低グルコースが予測されるとアラートでお知らせします
- 低グルコース前にアラートで気づき、補食などを摂ることができます
- 工作中、運転中の低血糖への予防が期待できます

予測アラート機能のアラート発生イメージ(下限値70mg/dL、予測到達時間30分の場合)

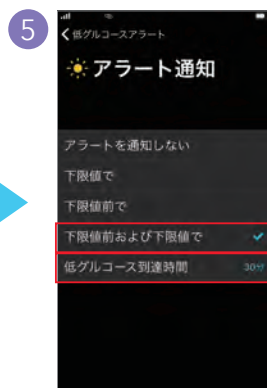
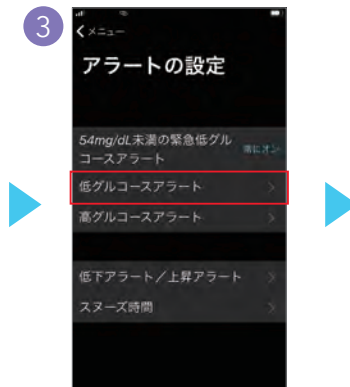
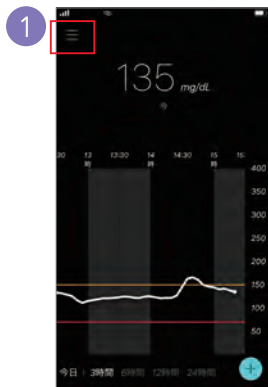


予測アラートで低グルコースを予防および回避のイメージ



グルコースアラートの活用

低グルコース予測アラートの設定



アラートの通知するタイミングを設定します
※予測アラートの場合、下限値前を選択し、予測到達時間を設定します
※10分~1時間で設定可能です

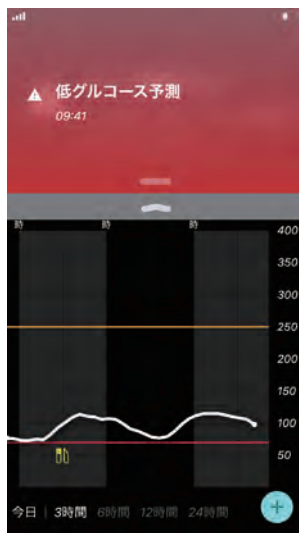
高グルコースアラートも同様に設定可能です



アラートの設定や、アラートが鳴ったときの対応方法は、必ず主治医と相談の上、決定してください。

低グルコース予測アラートの対処

グルコースアラートの画面



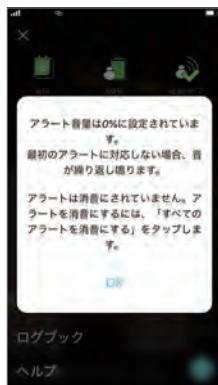
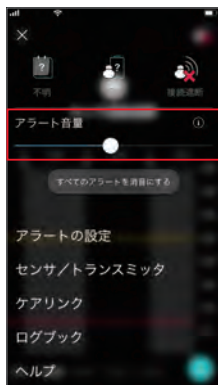
グルコースアラートはセンサグルコース値があらかじめ設定した上限値もしくは下限値に達した場合、もしくは達する可能性を予測して通知します。

センサグルコース値と血糖値が一致しない場合があるため、アラートが鳴った場合でも、高血糖または低血糖に達していないことがあります。アラートが鳴ったときの対応については、担当医師にご相談ください。

グルコースアラートが鳴らない場合であっても、高血糖または低血糖になっている場合があります。高血糖または低血糖の症状が現れたときには、ただちに血糖を測定してください。高血糖および低血糖への対応については、主治医にご相談ください。

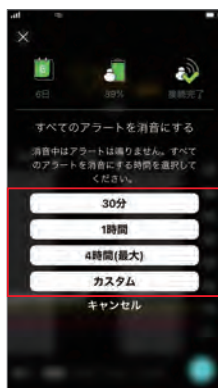
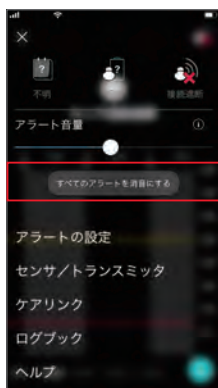
グルコースアラートの活用

アラートの音量、消音の設定



アラート音量設定

- アラート音量を「%」で設定できます
- 音量が設定されていると、モバイル機器がマナーモードでもアラート音で通知します
- アラート音量を「0%」に設定されていると、振動(バイブ)で通知します
※最初のアラートに対応しない場合、音が繰り返し鳴ります。



アラートの消音設定

- すべてのアラートの消音設定ができます
- 最大で4時間設定可能です
- 30分、1時間、4時間(最大)、カスタムで設定できます



緊急低グルコースアラートは54mg/dL未満で鳴ります。「すべてのアラートを消音にする」がオンになっている場合は、通知音は鳴りませんが、代わりに振動(バイブ)で通知します。

ケアリンク™コネクトの活用



ケアリンク™コネクト機能とは

ケアリンク™コネクト機能とは、遠隔モニタリング機能のことです。

1. 家族・保護者が、患者さんのCGMデータをモバイル機器やパソコン(PC)から遠隔でモニタリングできます。
2. 家族・保護者が、患者さんで発生したアラートをテキストメッセージ(SMS)を受け取ることができます



家族・保護者の画面イメージ
(遠隔モニタリング)



家族・保護者へのテキストメッセージ(SMS)の画面イメージ

アラート通知メッセージ送信のイメージ



メッセージ送信!!



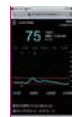
アラート発生!!



システムのイメージ



モバイル機器にアラートをメッセージで通知



家族・保護者

CGMデータ、デバイス状況のモニタリング



自動アップロード

- ・CGMデータ
- ・アラート通知
- ・デバイス状況



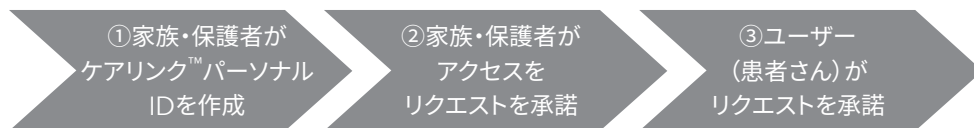
患者さん

ケアリンク™コネクトの活用

ケアリンク™コネクトを使うためには、家族・保護者はケアリンク™パーソナル登録する必要があります。

ユーザ登録は、以下①～③の手順で行います。

- ① 家族・保護者が、ケアリンク™パーソナルIDを作成する
- ② 家族・保護者が、ユーザ(患者さん)のデータへのアクセスをリクエストする
- ③ ユーザ(患者さん)が、リクエストを承諾する



家族・保護者は、下記サイトからケアリンク™パーソナルのIDを作成してください。

【ケアリンク™パーソナルへアクセス】

<https://carelink.minimed.eu>



① 家族・保護者が
ケアリンク パーソナル
IDを作成

② 家族・保護者が
アクセスを
リクエストを承諾

③ ユーザー
(患者さん)が
リクエストを承諾

ケアリンク™コネクトの活用

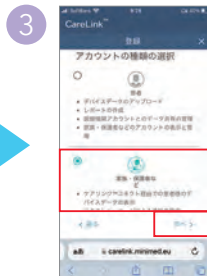
※ 画面の内容を確認し、ガイダンスに従い選択をしてください



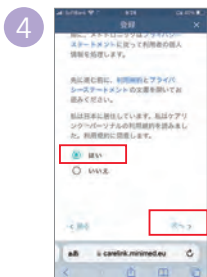
「アカウントの作成」
を選択



「日本」と「日本語」を
選択し、「次へ」を選択



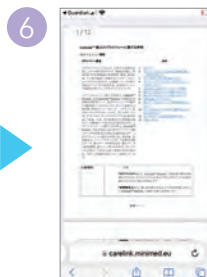
「家族・保護者など」を
選択し、「次へ」を選択



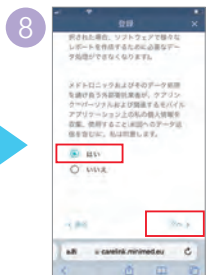
利用規約、プライバシーステート
メントを確認し「はい」を選択し、
「次へ」を選択



※ 文書確認画面イメージ
※ 利用規約、プライバシーステートメントを読まないで次に進めません



「はい」を選択し、
「次へ」を選択



「はい」を選択し、
「次へ」を選択



「はい」を選択し、
「次へ」を選択



「はい」を選択し、
「次へ」を選択

リアルタイムCGMを使いこなそう

ケアリンク™コネクトの活用

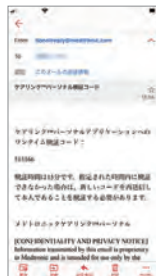
※ 画面の内容を確認し、ガイダンスに従い選択をしてください



「ID」、「パスワード」、
「メールアドレス」を
入力し、「次へ」を選択
※ キャリアメールを
使用しないでください



「名前」、「郵便番号」、
「電話番号」などを
入力し、送信を選択
※ *がある項目は
必須項目です



登録したメールアドレスに
「検証コード」が届きます



「検証コード」入力し、
「ロボットではありません」
に、「チェック」を入れます



画面の指示に従い、
画面を選択し、
「確認」を選択



登録完了を表示され
たら、アカウント作成
は完了です
「続行」を選択

次のページへ進み、
「②アクセスリクエスト」を行ってください

① 家族・保護者が
ケアリンク パーソナル
IDを作成

② 家族・保護者が
アクセスを
リクエストを承諾

③ ユーザー
(患者さん)が
リクエストを承諾

ケアリンク™コネクトの活用

【ケアリンク™パーソナルへアクセス】

<https://carelink.minimed.eu>



リアルタイムCGMを使いこなそう

次のページへ進み、
「③リクエストの承諾」を行ってください

① 家族・保護者が
ケアリンク パーソナル
IDを作成

② 家族・保護者が
アクセスを
リクエストを承諾

③ ユーザー
(患者さん)が
リクエストを承諾

ケアリンク™コネクトの活用



リアルタイムCGMを使いこなそう

以上で、ケアリンク™コネクトの設定は完了です

ケアリンク™コネクトの活用

テキストメッセージの通知設定、アラートの通知設定

※テキストメッセージ通知の際は、家族・保護者の携帯番号の入力と通知設定が必要です



リアルタイムCGMを使いこなそう

通知を受けたいアラートを選択します。

- カテゴリ名の横にある をONにし、通知を受けたいアラートを選択 します。
- 通知のタイミングを選択します。(●分経過後、アラートが未解除であれば通知されます)
- 最後に画面下の「更新」を選択します。

【参考】通知可能なアラート一覧

| 通知カテゴリ | アラート |
|------------|--|
| 低グルコースアラート | 緊急低センサグルコース値／低センサグルコース値／低グルコース予測／低下アラート |
| 高グルコースアラート | 高センサグルコース値／高グルコース予測／上昇アラート |
| ステータスアラート | トランスミッタ電池残量なし／センサの交換／センサ寿命終了／センサ通信中断／ 較正許容範囲外／要較正／センサグルコース値なし／センサ接続完了／較正タイマー／ トランスミッターエラー／モバイル機器の電池残量わずか |

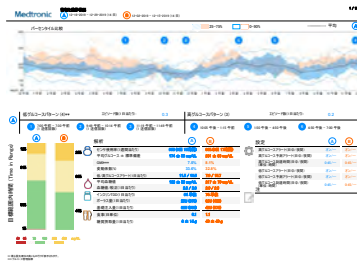
ケアリンク™レポートの活用



ケアリンク™パーソナルのレポート機能とは

ケアリンク™レポートとは、CGMデータをまとめたレポートです。

- ・ グルコースパターン、目標グルコース範囲内の割合 [Time In Range (TIR)] を表示します
- ・ ケアリンク™パーソナルにログインすると、ケアリンク™レポートの作成 (PDF形式) ができます
- ・ インスリン投与、食事や運動などが血糖変動に影響しているかを振り返り確認することができます



ケアリンク™レポートの作成

リアルタイムCGMを使いこなそう

ケアリンク™レポートの活用

【ケアリンク™パーソナルへログイン】 <https://carelink.minimed.eu>



リアルタイムCGMを使いこなそう

レポート作成方法

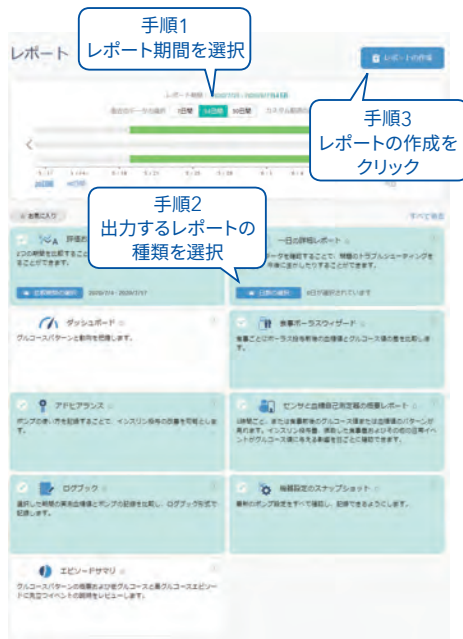
ホーム画面の左側にある「レポート」をクリックし、レポートの作成画面に移ります。以下の手順でレポートを作成します。

手順1. レポート期間を選択します。

手順2. 出力するレポートを選択します。

手順3. 「レポートの作成」をクリックします。

- レポート作成前に手動でアップロードすると、直近のデータまでレポート作成できます。
(アプリにて「メニュー」→「CareLinkとの同期」→「今すぐアップロードしてください」を選択)



リアルタイムCGM使用時の重要な注意事項

1. センサグルコース値は間質液を測定しているため、実測血糖値とは時間差が発生します。センサグルコース値による治療判断は可能ですが、グルコース値が疑わしいと思われる場合には、血糖自己測定を行ってください。
2. 較正を行う血糖値の入力は、血糖変動が安定しているとき(P. 22較正方法のポイントを参照)に実施してください。
3. トランスミッタは精密器械です。取り扱いには十分ご注意ください。(落下や衝撃を与えないよう注意し、高温・多湿などの環境下で保管しないでください。)
4. X線装置、MRI装置、CTスキャン装置またはジアテルミー装置が設置された検査室に入る前に、センサ、トランスミッタ、および血糖自己測定器を必ず取り外してください。
5. ワイヤレスネットワークなど高周波を使用する機器を使用している場合は、モバイル機器とトランスミッタ間の通信が干渉を受けることがあります。この場合には、モバイル機器とトランスミッタをこれらの機器から遠ざけるか、機器の電源を切ってください。この干渉により誤ったデータが送信されることはありません。
6. グルコースアラート機能はセンサグルコース値に基づいて作動します。センサと血糖値の乖離を防ぎ、機能を正しく動作させるため、センサの装着部位の注意点および装着方法(P.16~20)に注意してください。
7. トランスミッタの電池切れやセンサ信号が受信できない場合、グルコースアラート機能は作動しません。通信の回復が難しい場合は、定期的に血糖値を確認してください。
8. センサを装着している時に、アセトアミノフェン(パラセタモール)が含まれる薬剤(解熱剤、風邪薬など)を服用すると、センサグルコース値が誤って上昇することがあります。その程度には、服用量や個人差があります。低血糖を防ぐために、血糖値を測定し治療を決定するようにしてください。
9. ヒドロキシカルバミド又はヒドロキシウレアが含まれる薬剤(癌などの治療薬)を服用すると、血糖値に対してセンサグルコース値が高く測定されるため、CGMによるグルコースモニタを行わず、必ず血糖自己測定により血糖値をモニタしてください。
10. 緊急事態の対処方法をあらかじめ主治医と決めておいてください。
11. 低血糖・高血糖など体調に異変があった場合、ただちに医療機関へご連絡ください。(お出かけの際には緊急情報カードなどご自身が糖尿病であることが証明できるものをご持参ください)

医療機関連絡先

このような場合は医療機関へご連絡ください

- ・ 高血糖や低血糖など体調に異変がある場合
- ・ インスリン量の調整など治療に関する相談が必要な場合
- ・ 患者さんやご家族による対処が困難な場合
- ・ 付属品が無くなった場合 (ご注文や発送依頼)
- ・ 本品または付属品の故障が疑われる場合

24時間サポートライン

本品の使用方法に関するご質問や不安なことがありましたら、いつでも24時間サポートラインへご相談ください



www.medtronic.com/guardianconnect

- ・ 製品の使用方法やよくある質問などをご紹介します。
- ・ パソコン、スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます。



クラブレニー

製品・安全情報のメール配信サービスや、はじめてすぐの患者さんにお電話でサポートサービスの利用が可能

ご登録はこちら



LINE公式アカウント

LINE公式アカウントから友達登録で、タイムリーな製品・安全情報を配信

友達登録はこちら



友だち
募集中!

Medtronic



日本メドトロニック株式会社

ダイアピーティス
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

エムベクタ合同会社

〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-1
日比谷フォートタワー

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。
© 2023 Medtronic. Medtronic、メドトロニック及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。
TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。

エムベクタ合同会社は、メドトロニック社製「ガーディアン™4スマートCGMシステム」の情報提供活動をしております。
embecta and the embecta logo are trademarks of Embecta Corp.

販売名:メドトロニック ガーディアン コネクト
医療機器承認番号:22900BZX00321000